

令和6年度 自己評価及び学校関係者評価書

令和7年3月18日
札幌市立北野小学校

1 本年度の重点目標

笑顔でつながる 北野の子 【落ち着いて考える子ども・明朗でたくましい子ども・思いやりのある子ども】

2 本年度の経営方針

(1) 主体的に学ぶ力を育む (2) 豊かな心を育む (3) 健やかな体を育む (4) 信頼される学校づくり

3 自己評価結果に対する学校関係者評価

分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		達成状況	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
知【主体的に学ぶ力を育む】	「学ぶ力」育成プログラムに基づいた具体的な改善策に取り組み、子どもの「課題」の改善を図る。 ＜主体的に学ぶ子の育成＞	B	・「学ぶ力」育成プログラムを年度途中で見直し、修正と再確認を行った。次年度も年間を通して「学ぶ力」育成プログラムを意識し、課題探究的な学習の実現を目指していく。	A	A
	自ら学ぶ、家庭での学習習慣づくりに取り組む。 ＜自分の問題意識をもって学びを進める子の育成＞	A	・自ら学ぶ習慣づくりや学習習慣づくりを各学級で工夫して行った。今後も保護者と更に連携し、学校でも家庭でも学ぶ習慣づくりを進めていく。	A	A
	他者意識を大事に受容する対話的な学び、人と関わる体験型の学びを重視し、「分かる・できる・楽しい」授業づくりに取り組む ＜人との関わりを通して学びを深める子の育成＞	B	・「出前授業」「校外学習」等の対話的・体験的な学習を増やし、「本物の経験」を生み出す機会を増やした。学習場面では、他者との交流がうまくできない子への支援の方法を検討していく。	A	A
学校関係者評価委員による意見	子どもたちの学習に学び合う姿が現れており、特に1年生の様子からは、小学校1年間の大きな成長を感じた。子どもたちの成長に合わせて、校外学習や出前授業、ICT機器の活用など様々な学習環境づくりを工夫していることが分かった。この先も社会環境は大きく変わっていくと思われるが、先を見据えて「学ぶ力」の育成に取り組むことを期待している。				
徳【豊かな心を育む】	他者意識を大切にされた落ち着いた学校生活を送るよう指導の充実を図る。 ・生活目標 ・全校朝会など儀式的行事 ・ふれあい活動（異学年交流）	B	・授業や行事などの様々な指導機会において、「相手の気持ち」「みんなの気持ち」を意識する機会を意図的に設定する。「北野の心」についても年間を通して意識できるように計画していく。 ・ふれあい活動についても、他者意識がもてるように活動内容の工夫を図っていく。	A	A
	道徳教育の充実、命を大切にする指導の充実を図る。	A	・道徳の授業などで多様な考えに触れて自身の考えを深め、自他を大切にする心を育む学習や活動を行う。 ・道徳教育の全体計画を基に、重点目標に応じた指導を、年間を通じて行う。	A	A
	いじめ防止基本方針に基づいた組織的対応、新たな不登校を生まない学校づくりに取り組む。 ・児童アンケート（北野小6月） ・悩みやいじめに関するアンケート（札幌市11月） ・「シャボテンログ」の活用	A	・年2回のアンケートの実施により、早期発見、早期対応を行っていく。 ・毎月、「いじめ防止対策委員会」を開催し、いじめの早期発見、早期対応、情報交流に努めた。 ・今後もいじめや様々な問題に対して、組織的な対応を継続する。	A	A
学校関係者評価委員による意見	子どもたちの自己肯定感を高めるよう「ほめ言葉のシャワー」「ピア・サポート」「北野の心」「プラスのまほう」などの、各学年や諸行事・活動での取組にたいへん価値がある。小学校生活での子どもの育ちは大きく、であるからこそ学校が子どもたちの発達に関する様々な関わりを大事にされていることが分かった。「いじめ防止対策委員会」の定期開催やケース会議をもち、いじめの問題に早期に、組織的に対応するよう努めていることは、今後も重点として継続してもらいたい。				

体【健やかな体を育む】	「健やかな体」育成プログラムに基づいた具体的な改善策に取り組み、子どもの「課題」の改善を図る。 ＜主体的に運動に向かう子の育成＞	A	<ul style="list-style-type: none"> 授業以外の時間である中休みや昼休みのグラウンドでの遊び、体育館遊びの指導を継続して行う。 今後も「鉄棒週間」「マット週間」「跳び箱週間」を教育課程に設定して運動量を確保する。 	A	A
	運動環境について3間（仲間・時間・空間）の整備を継続する。	A	<ul style="list-style-type: none"> 「RunRun チャレンジ」（50m 短距離走のコースの常設）の実施や屋外遊びの推奨等、運動環境の整備や運動機会の確保を行う。 	A	A
	食育推進、性に関する指導の充実を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・フードリサイクル ・北野のカレー ・発達の段階に応じた性に関する指導 	A	<ul style="list-style-type: none"> 全校児童での「北野のカレー」に向けた野菜作りに取り組むとともにフードリサイクルの指導を継続し、食育指導を推進する。 学年の発達に応じた性指導を「いのちの学習」と名称を変更し、指導内容の見直しを図る。 	A	A
学校関係者評価委員による意見	運動に親しみ運動が好きである子どもたちの様子が伝わってきた。学校として環境の整備と具体的な取組がなされ、子どもたちに浸透してきていることが分かった。伝統的とも言える「北野のカレー」については、食育の取組の一つとして協働的な活動や異年齢の関わりを効果的に構成していることがうかがえる。				
信頼される学校	学校評価の改善策を意識した学年経営、校務分掌の業務推進に取り組む。	A	<ul style="list-style-type: none"> 行事や活動のねらいや各部の年間の動き、学年の動きなどの、各組織間の「つながり」を意識し連携したカリキュラムマネジメントに努める。 放課後等の子どもに向き合う時間である各業務や研修の時間を計画的に確保する。 	A	A
	研修の充実を図り、指導力の向上を目指す。	B	<ul style="list-style-type: none"> 研究会や研修への参加により授業改善に資するよう努め、職員が学び合う校内研修も充実させていく。 3年次研究の3年目として、算数科を中心とした本校の研究の成果を、外部の有識者を招いて確かめる機会を設け、更なる指導力の向上を目指す。 	A	A
	家庭や地域との連携を図り、学校づくりを進める。 <ul style="list-style-type: none"> ・小中一貫教育（パートナー校との連携） ・幼保小高との連携 ・町内会、地域との連携 ・専門機関との連携 ・児童会館との連携 	A	<ul style="list-style-type: none"> 地域の幼保小高と連携した交流に取り組む。 コミュニティ・スクールの導入を目指し、パートナー校である北野中学校・北野平小学校と「小中一貫した教育」の推進に取り組む。 札幌市教育研究推進事業（札教研）では、授業公開を通して、パートナー校と子どもの姿や日常の課題について交流する。 	A	A
	安全・安心な学校づくりに取り組む。 <ul style="list-style-type: none"> ・安全指導（交通安全指導、避難訓練、登下校等） ・学校・保護者間連絡システム「すぐーる」の配信、学校ホームページへの掲載 ・危機管理マニュアル・日々の教育環境整備 ・スクールガード、まちづくりセンター等との交通安全や防犯等に関する情報連携 	A	<ul style="list-style-type: none"> 交通安全教室や清田区安全教室、避難訓練等を実施し、災害への備えや防犯への意識を高める。 学校ホームページや保護者メール「すぐーる」を効果的に活用し、学校の情報を保護者に伝える。 危機管理マニュアルの適宜整備と、地域や関係機関との連携を進める。スクールゾーン実行委員会において校区内の合同点検箇所を確認する。 	A	A
学校関係者評価委員による意見	学習指導や生徒指導だけでなく、様々な問題に日々取り組んでいる教職員の取組を評価したい。教職員が子どもに向き合う時間をつくるための、放課後の時間の計画的な確保は重要である。授業準備や業務、様々な問題等への対応があると思われるが、子どもたちのため、教職員の力量を高める計画的な研修を期待する。家庭・地域との連携については、コミュニティ・スクールの導入に向けた連携を含め、子どもたちが安心して学校生活を送ることができるよう図っていくことを願う。				